

# 業種別売上高

## ◆ 幅広い業種でユーシン精機のロボットが使用されています

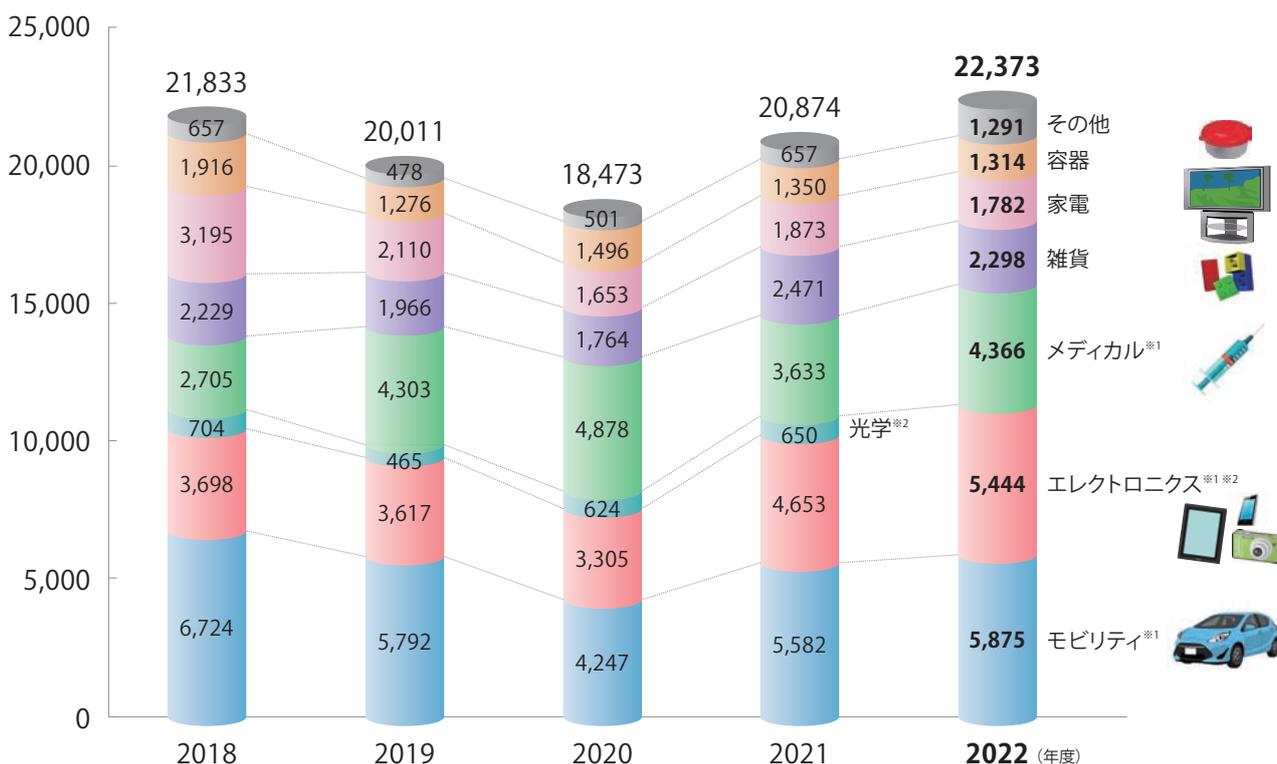
ユーシン精機のロボットは、プラスチック射出成形品の生産工場で活躍しています。そのためプラスチックを扱う多様な業種にビジネス展開しています。自動車を中心としたモビリティ業界は、部品の多くがプラスチックで代用されつつあること、EV化による更なる軽量化ニーズもあり、今後も伸びが期待できます。医療業界は、衛生面の考慮から、プラスチック製品の大量生産が行われており、ロボットの稼働スピード・正確性を強みとする当社にとっては、親和性の高い業界といえます。また、バーチャルリアリティなどを含む新しい分野でのハードウェアの伸びも期待できます。

2022年度は、モビリティ分野において、日本国内・北米・タイ市場向けに取出口ロボット販売が堅調に推移しました。

エレクトロニクス分野への販売では、国内市場や北米市場での伸長がありました。また中国市場においても、主に電子デバイス向けの販売が多くあり、対前年比で売上高は減少したものの、中国市場における販売比率はエレクトロニクス分野が依然としてトップを占めております。

医療分野への販売は、大口の欧州向け特注機の売上が寄与し、好調に推移しました。また北米での販売も近年は堅調であり、北米市場における医療分野販売比率はトップとなっております。医療分野は、スピード・正確性を強みとする当社ロボットによりYUSHINブランドが高く評価されつつあり、近年は中国市場などでもその売上が上昇してきています。

売上高 (単位:百万円)



※1 従来の「自動車」「電子部品」「医療」はそれぞれ、「モビリティ」「エレクトロニクス」「医療」に名称変更しました。

※2 従来の「光学」は「エレクトロニクス」と統合しました。

### 今後の成長戦略

軽量化が求められるモビリティ業界、衛生面を考慮する機会が多い医療業界でのプラスチックニーズはこれまで以上に強くなると考えており、これらの業界は今後の事業発展のドライバーとなると見込んでいます。また、業界特有のニーズを満たした商品開発に注力してまいります。

現在は多業種に展開することで、特定業界の不況などに対するリスク分散が図られています。今後は新たな業界（食品業界など）のニーズも取り込むことにより、より一層の販売業種の多様化を目指します。